

黒部市制 20 周年記念

第 21 回黒部市民スポーツ大会



実施要項閲覧

主 催 黒 部 市
黒 部 市 教 育 委 員 会
公 益 財 団 法 人 黒 部 市 ス ポ ー ツ 協 会

共 催 黒 部 市 各 地 区 公 民 館
黒 部 市 各 地 区 自 治 振 興 会

主 管 関 係 競 技 団 体

黒部市民憲章

わたしたちの黒部市は、黒部川の源流北アルプスから富山湾にいたる、緑ゆたかな名水の里です。その清らかな水と肥沃な扇状地は独自の歴史と文化、産業を育んできました。かけがえのないこのふるさとを誇りとし、さらに発展させるため、わたしたち市民一人ひとりがまちづくりの主役となりましょう。

わたしたちは、

- 一、 水と緑をいつくしみ、うるおいのあるまちをつくります。
- 一、 伝統に創意をかさね、個性のあるまちをつくります。
- 一、 働くことを喜びとし、活力あるまちをつくります。
- 一、 思いやりの心を大切にし、温もりのあるまちをつくります。
- 一、 世界の人々と交流を深め、魅力のあるまちをつくります。

スポーツ健康都市宣言

(平成20年9月22日)

健康で自立し、生きがいのある暮らしを送ることは市民すべての願いです。

「市民ひとり1スポーツ」を合言葉とし、ともに生涯にわたりスポーツに親しむことで、自らの健康増進と地域の振興を図り、誰もが安心して心豊かに暮らせる魅力あるまちになることをめざし、ここに黒部市を「スポーツ健康都市」とすることを宣言します。

黒部市制 20 周年記念

第 21 回黒部市民スポーツ大会実施方針

1. 実施方針

黒部市では、気軽な健康づくりから選手の競技力向上まで、スポーツのまちとして市民の幅広いニーズに応えてまいりました。

また、市民の誰もがそれぞれのライフスタイルに応じて多様なスポーツに親しむことができるように、「市民一人1スポーツ」の定着を図るとともにその環境整備を計画的に進めてまいります。

このような中で、更なるスポーツ文化の発展を目指し、第 21 回黒部市民スポーツ大会を実施します。

2. 実施方法

実施方法については、2ブロック制（陸上を除く）地区対抗戦による形式とし、種目・種別については、15 種目 17 種別とする。

なお、競技日程については、陸上を除く 14 種目 16 種別を 6 月 14 日（日）、7 月 5 日（日）、12 日（日）に行う。陸上については、10 月 18 日（日）に最終種目として実施する。

- (2) ふるさと選手制度の活用にあたっては、ふるさと選手制度実施要領を参照のこと。

9. 異議申立て
- (1) 陸上を除くその他の競技については、その競技大会終了の翌月曜日までに全ての成績表及び総合得点表を各地区公民館にFAXし、同週の木曜日までに地区からの異議申立てがなければ成立とする。
- (2) 陸上（大運動会）については、市民スポーツ大会最終日となることから全競技の集計が完了した後、監督会議にて得点集計表を配布し、地区からの異議申立てがなければ競技成立とする。
- (3) 総合順位は、各競技の競技得点と参加得点の合計点により決定する。最終順位の設定は、陸上競技の監督会議にて得点集計表を配布し、地区からの異議申立てがなければ成立とする。

10. 得点
- (1) 陸上（大運動会）以外は、競技ごとに参加点3点を与え、順位点として、1位に7点、2位に4点、3位に2点、4位に1点を加える。ただし、合同チームで参加した場合の順位点は、別途定めることとする。
- 陸上（大運動会）は、参加点5点を与え、順位点として1位に5点、2位に4点、3位に3点、4位に2点、5位に1点を加える。
- (2) トーナメント戦で第1試合終了時に中止となった場合は、参加地区に参加点を与える。また、2回戦終了時以降に中止となった場合は、参加点に加え、順位点を按分した得点を与える。
- ※按分した得点とは、順位が未確定である残りの試合において、各地区が該当する可能性のある順位の点数を全て足したものをその数で割った値とする。
- (3) リーグ戦で試合途中で中止となった場合は、参加地区に参加点を与える。
- (4) 得点と同点の場合は上位入賞数により順位を決定する。なお、それでも同数で決定しない場合はその順位を共有し次の順位を欠位とする。
- (5) 参加地区が4地区以下のときは参加点のみを与える。
- ただし、抽選時に5地区以上の参加があった場合は競技成立とみなし、参加点と順位点を与えるものとする。ただし、棄権した場合、参加点は与えない。

11. 表彰
- 総合優勝には優勝旗、優勝杯、次勝には次勝杯、参勝には参勝杯を授与する。

陸上の優勝には優勝旗、優勝杯、次勝には次勝杯、参勝には参勝杯、その他の競技ごとの優勝（ブロック）には優勝杯を授与する。なお、優勝旗、優勝杯、次勝杯、参勝杯は翌年4月末までに返却とする。

12. 選手団役員 各地区の選手団に次の役員を置くものとする。
団長 1名、副団長 若干名、監督 1名
13. 準備及び撤収 すべての準備は開会 30 分前までに完了するものとする。
なお、陸上（大運動会）を除く競技の準備及び撤収は実施種目競技協会が行うものとする。
14. 傷害保険 大会当日、競技中に怪我等の不慮の事故が起きた場合は主催者の加入する傷害保険にて補償する。
(別途、地区公民館加入の傷害保険もあり)
【参考】(主催者加入保険補償額)
通院 3,000 円/日
入院 4,500 円/日
15. 大会役員
- (1) 大会長 市長
 - (2) 副大会長 副市長、市スポーツ協会長
 - (3) 顧問 県議会議員、市議会議員、教育委員、各地区自治振興会長、各地区公民館長、各小中高校長
 - (4) 参与 市スポーツ協会副会長、関係競技協会長、ウィメンズくろべ会長
 - (5) 大会委員長 教育長
 - (6) 大会副委員長 市スポーツ協会専務理事、市教育部長、市スポーツ推進委員協議会長
 - (7) 大会委員 市自治振興会連絡協議会長、市公民館連絡協議会長、関係競技協会理事長
16. 各競技会役員
- (1) 委員長 各競技協会長
 - (2) 副委員長 若干名
 - (3) 総務 若干名
 - (4) 審判長 1 名
 - (5) 審判員 若干名
17. 実行委員会等 黒部市民スポーツ大会を開催するため、実行委員会及び運営委員会を設置し大会運営にあたる。

黒部市民スポーツ大会 ふるさと選手制度実施要領

1. 制度の趣旨 人口の減少による選手不足により、参加地区が減少しつつある競技が出てきている現状を踏まえて、市民スポーツ大会の目的である、「市民が一堂に会し交流できる大会の運営」、「地区同士の活発なスポーツ交流の促進」を維持するため、ふるさと選手制度を導入する。
 なお、あくまでも競技の選手不足を補う制度であり、強化を目的としない。
2. 制度の内容 結婚や引越し等により、黒部市内から黒部市内又は黒部市外へ転居した方が旧居住地区から「ふるさと選手」として出場することが出来る。
3. 対象種目 陸上（大運動会）を除く全種目とする。
4. 人数制限 競技成立人数の3分の1以内とする。
 ただし、柔道、水泳は1名とする。
5. 申請 黒部市外へ転居した方が旧居住地区で参加する場合は、申請等の手続きの必要はない。
 ただし、市内から市内へ転居した方が他の地区で出場する場合は、事前に本人及び現居住地区の体育・スポーツ協会長又は該当種目の監督の了承を得ること。
6. その他 ふるさと選手制度を利用する際は、オーダー表に「◎」を記入すること。
 黒部市内に居住していた履歴が無い方の出場があったことが判明した場合には、その該当種目を失格とする。
 また、現居住地区の了承を得ずに出場したことが判明した場合は、該当種目を失格とする。

第21回黒部市民スポーツ大会 大会日程

期 日	種 目	開始	会 場	備 考	競技成立 人数	ふるさと 選手	参加申込 提出日	抽選会	オーダー表 提出期限	競技 要領	
6月14日 (日)	総合優勝旗・ 優勝杯 返還式	9:00	総合体育センター メインアリーナ								
	スティックリング	9:15	総合体育センター メインアリーナ		6名	2名	6月4日 (木)	6月5日 (金) 18:30~	当日	P 1	
	サッカー	9:00	中ノ口緑地公園運動広場	荒天中止(決定8:00)	8名	2名				P 2	
7月5日 (日)	野 球	8:00	宮野運動公園野球場 中ノ口緑地公園野球場	雨天中止(決定7:00)	10名	3名	6月25日 (木)	6月26日 (金) 18:30~	当日	P 3	
	ソフトボール女子	8:30	宮野運動公園 多目的グラウンド	雨天中止(決定7:30)	9名	3名				P 4	
	ビーチボール	9:00	総合体育センター メインアリーナ		8名	2名				P 5	
	テニス	9:00	宮野運動公園庭球場	雨天中止(決定8:00)	3名	1名				P 6	
	柔 道	9:00	錬成館		2名	1名				P 7	
	バドミントン	9:00	総合体育センター メインアリーナ		6名	2名				6月28日 (日)	P 8
	卓 球	9:00	総合体育センター サブアリーナ		4名	1名				当日	P 9
	パークゴルフ	9:00	おおしまパークゴルフ場		6名	2名			6月29日 (月)	P 10	
7月12日 (日)	ソフトボール男子	8:30	宮野運動公園 多目的グラウンド	雨天中止(決定7:30)	9名	3名	6月29日 (月)	6月30日 (火) 18:30~	当日	P 11	
	ソフトテニス	9:00	宮野運動公園庭球場	雨天中止(決定8:00)	4名	1名				P 12	
	相 撲	9:00	宮野運動公園相撲場		3名	1名				P 13	
	バレーボール男子	9:00	総合体育センター メインアリーナ サブアリーナ		9名	3名				P 14	
	" 女子	9:00		9名	3名						
	水 泳	9:30	総合体育センター 温水プール	監督会議 7月7日(火)19:00 黒部市総合体育センター	1名	1名			6月30日 (火)	P 15	
10月18日 (日)	陸 上(大運動会)	9:00	宮野運動公園陸上競技場 (雨天時:総合体育センター)				9月上旬	当日	P 16		

※雨天中止決定とは…天候やグラウンド状況により、遅れて開始する場合も含めて決定する時間

◆スティックリング競技◆

- (1) 人 員 ①各地区1グループ(下記3チーム構成)とする。
【男性1チーム、女性1チーム、男女混合1チーム】
- ・男性及び女性チームの選手は、それぞれ3～4名とする。
 - ・男女混合チームの選手は、男子2名・女子2名とする。
 - ・各チームを兼任することはできない。
- ②競技成立人数(参加点の基準)は6名(男性3名、女性3名)以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項記載の参加資格に加え、中学生及び高校生の出場を認める。(登録は何名でも可)
- (3) 試合方法 スティックリング協会競技規則に準ずる。
ただし、下記については市民スポーツ大会特別ルールとする。
- ①試合形式
- ・A、Bブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・試合は6イニングとする。
- ②勝敗
- ・各チームの勝敗は、6イニングの合計得点が多いチームを勝利とする。同点の場合は、勝ちイニングが多いチーム、それも同じ場合は、最高得点イニングを出したチームを勝利とする。それも同じ場合はエチケットリーダーの「ジャンケン」で勝ったチームを勝利とする。
 - ・各グループの勝敗(地区勝敗)は、3チームの内2チームが勝利したグループを勝利とする。
- ③その他
- ・3人制で行う。その内、中学生から高校生の出場を男子チーム、女子チーム各1名可とする。男女混合チームには出場不可とする。
 - ・試合前「ジャンケン」の勝者が先攻・後攻を選択する。
 - ・得点は赤ゾーンが3点、黄ゾーンが2点、青ゾーンが1点とする。
 - ・男女混合チームについては4名すべて1イニング以上出場する。
 - ・5・6イニングをラッキーイニングとし、得点を3倍とする。
 - ・各チームにてエチケットリーダー(選手・選手以外どちらでも可)を決め、他プレーヤーに指示やアドバイスを行うことができる。
- (4) 試合用具 スティックリング専用コート、パック、スティックを使用する。

◆サッカー競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム、8人制
・監督、選手15名以内とする。
・競技成立人数(参加点の基準)は8名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおり。ただし、大学生・専門学校生・全日制及び定時制高校のサッカー部員の出場は認めない。
- (3) 試合方法
・2026年度日本サッカー協会サッカー競技規則に準ずる。
ただし、一部下記のローカルルールとする。
① 使用するゴールは、少年用とする。
② 交替者の出入りは自由とする。
③ ピッチ内に35歳以上が必ず2名入る。
④ 女子選手の出場を可能とし、その場合、男子35歳以上と同等とみなす。
・各サイズは次のとおりとする。
①ピッチサイズ 68m×50m
②ペナルティーエリア 12m×12m
③ゴールエリア 4m×4m
④センターサークル 半径7m
⑤ペナルティポイント 8m
・ゲーム時間
①30分ゲーム【15-5-15】
②全試合、両者同得点の場合、ピッチ内の5名ずつによるPK戦とする。(5名で決しない場合はサドンデス)
・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
・3位決定戦は実施しない。
- (4) 審 判 2名制とし、サッカー協会が主審、各地区で副審(各1名)を行う。担当はサッカー協会にて決定する。
- (5) 試合球 サッカー5号ボール
- (6) その他
・ビブスは、各チームで持参すること。すね当てを必ず装着する。
・サッカーシューズであること。(金属ポイント禁止)

◆野球競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム
- ・監督を含む選手25名以内とする。
 - ・競技成立人数(参加点の基準)は10名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおり。ただし、大学生・専門学校生・高校生の野球部員の出場は認めない。
- (3) 試合方法
- ・2026年度公認野球規則に準ずる。
 - ・指名打者ルールを使用することが出来る。
 - ・時間制限は、決勝も含めて5回もしくは70分以内までとし、3回以降7点差を生じた時はコールドゲームとする。
 - ・4回で同点の場合は、タイブレーク方式を適用する。タイブレークを1回行い、同点の場合は抽選とする。
 - ・1試合目以降、早く試合が終了した場合、両チームの了解を得て試合開始時間を早める場合がある。
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・3位決定戦は実施しない。
- (4) 試合球 軟式ボールM号
- (5) その他 開会式は行わない。

◆ソフトボール女子競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム
- ・監督、コーチ、選手20名以内とする。ただし、監督、コーチが選手を兼ねる場合は選手18名以内とする。
 - ・競技成立人数（参加点の基準）は9名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、年齢区分は中学生以上とする。ただし、日本リーグに登録している選手は、出場できない。
- 中学生～高校生4名の出場を認める。（登録は何名でも可）
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
 - ・中・高校生を投手にすることはできない。
 - ・試合は7イニングとする。（ただし、50分を越えて次のイニングに入らない。）
 - ・3回15点差、4回10点差、5回以降7点差をもってコールドゲームとする。
 - ・全試合同点の場合は抽選とし、勝敗を決定する。
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・3位決定戦は実施しない。
- (4) 審 判
- ・1試合目の審判員として、2試合目の各チームより1名派遣する。
 - ・2試合目以降は審判員として、負けたチームより2名を次の試合に派遣する。
- (5) 試 合 球 協会検定3号ゴムボールを使用する。
- (6) そ の 他
- ・中・高校生は「※」をオーダー表に記入する。
 - ・参加者は背番号を付け、監督は30番、コーチは31番、キャプテンは10番とする。
 - ・金属スパイクの使用は禁止する。

◆ビーチボール競技◆

- (1) 人 員 各地区1グループ（下記3チームをもって構成する。）
- ・男子1チーム、女子1チーム、男女混合1チーム
 - ・1チーム：監督1名、選手4名、補欠2名
 - ・男子チーム、女子チーム、混合チームを兼任し登録することはできない。
 - ・競技成立人数（参加点の基準）は8名以上とし、2チーム（1チーム選手4名以上）の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、高校生の出場を認める。（登録は何名でも可）
- ・男子チーム：出場選手の合計年齢が120歳以上であること。
 - ・女子チーム：出場選手の合計年齢が120歳以上であること。
 - ・混合チーム：男女が常に2名ずつ出場し、出場選手の合計年齢が160歳以上であること。
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本ビーチボール協会オフィシャルルールに準ずる。
 - ・9点3セットマッチとし、2セット先取を勝ちとする。
 - ・各グループの勝敗は、3チームの内2チームが勝ったグループを勝ちとする。
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・3位決定戦は実施しない。
- (4) 審 判 主審、副審、線審（ラインズマン）及び得点、掲示員は選手で行う。
人員不足等で困難な場合は、市ビーチボール協会へ相談すること。
- ・審判は両チームによる「審判方法基本」（第2試合目の両チームで行い、決勝は準決勝の負けたチーム（2チーム）で行う。）
 - ・準決勝2試合目の審判は前の試合の2チームで行う。
- (5) 試合球 公認球（夏用）

◆テニス競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム(男子3名、女子2名)
男子 ダブルス1組、シングルス1組
女子 ダブルス1組
- ・ダブルスとシングルスは兼ねることができない。
 - ・競技成立人数(参加点の基準)は3名以上とし、ダブルス・シングルの内いずれか2試合以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、小学生～高校生2名の出場を認める。(登録は何名でも可)
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本テニス協会オフィシャルルールに準ずる。
 - ・1セットマッチ2ポイント先取とする。
(ただし、1回戦に限り、地区同士の勝敗が決定しても全組試合を行う)
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・3位決定戦は実施しない。
- (4) 試合球 公認球とする。

◆柔道競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム(監督1名 選手3名 補欠2名)
- ・3名の合計段位は無制限とする。
 - ・補欠選手の段位は選手の同段位以下とし、配列は同段位の最下位に補う。
 - ・一旦退いた選手は、以降出場する事は出来ない。
 - ・選手の配列は、下位段位とする。但し、高校生は先鋒とする。
 - ・競技成立人数(参加点の基準)は2名以上の出場とする。
 - ・やむなく2名編成での出場チームの場合、欠員の位置は先鋒とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、高校生1名の出場を認める。(登録は何名でも可)
- (3) 試合方法
- ・試合判定規定は、国際柔道連盟試合審判規定に準ずる。
 - ・試合時間は3分間とする。
 - ・関節技は禁止とする。
 - ・試合の勝敗は勝数の多少で決めるが、勝数同数の場合は内容点で決める。内容点も同点の場合は代表戦を行い僅差判定で決定する。
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
- (4) 練習日程
- 【日 程】 毎週火・金曜日
- 【会 場】 黒部市錬成館
- 【時 間】 午後7時～8時
- (5) そ の 他
- ・選手選出に関しては、市柔道協会各地区世話役員へ相談すること。
 - ・大会当日は主催者主体の準備体操と柔軟体操を実施し、開始前に受け身、打ち込み、投げ込み等の実施と安全指導や禁止技等の説明を実施。

◆バドミントン競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム(ダブルス4組、シングルス1組)
男子 ダブルス2組、シングルス1組
女子 ダブルス1組
男女 ミックスダブルス1組
- ・監督1名、選手 男子6名、女子3名、補欠若干名
 - ・ダブルスとシングルスは兼ねることはできない。
 - ・競技成立人数(参加点の基準)は男子4名、女子2名以上とし、ダブルス3組以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、年齢制限は下記のとおりとする。なお、男女とも、高校生1名の出場を認める。(登録は何名でも可)
- ・男子 年齢制限なし 3名(ダブルス1組、シングルス1組)
40歳以上 2名(ダブルス1組)
 - ・女子 年齢制限なし 2名(ダブルス1組)
 - ・男女 年齢制限なし 2名(ダブルス1組)
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本バドミントン協会オフィシャルルールに準ずる。
 - ・男女とも、ラリーポイント21本3ゲームとする。
 - ・勝敗が同数のときは得失点差で決める。
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・3位決定戦は実施しない。
- (4) 試合球 水鳥(検定球)

◆卓球競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム
- ・監督1名、選手男子4名、女子3名
 - ・競技成立人数（参加点の基準）は4名以上とし、4試合以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、男女とも、中学生～高校生それぞれ1名の出場を認める。（登録は何名でも可。）
- | | | | | (順 番) |
|----|--------|----|--|---------|
| 男子 | 年齢制限なし | 2名 | | (①・⑦) |
| | 40歳以上 | 1名 | | (③) |
| | 60歳以上 | 1名 | | (⑤) |
| 女子 | 年齢制限なし | 1名 | | (⑥) |
| | 40歳以上 | 1名 | | (④) |
| | 60歳以上 | 1名 | | (②) |
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本卓球協会オフィシャルルールに準ずる。
 - ・団体戦
 - ・A、B2ブロックに分け、リーグ戦方式とする。
- (4) 試合球 硬球

◆パークゴルフ競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム
- ・監督1名、選手8名（補欠1名）とする。
 - ・監督は選手を兼ねることができる。
 - ・競技成立人数（参加点の基準）は、女子枠1名を含む6名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、年齢区分は下記のとおりとする。
- | | |
|----------|--------------------|
| 男子70歳以上 | 2名 |
| 年齢性別制限なし | 4名（高校生以下の登録は何名でも可） |
| 女子 | 2名 |
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本パークゴルフ協会の定めるルールに準ずる。
 - ・A、B2ブロックに分け、女子枠1名を含む上位6名の合計得点で順位を決める。
 - ・同点の場合は、6名の年齢合計の高いチームを勝ちとする。
 - ・選手の得点は、各コース参加選手でセルフジャッジにより記入する。
 - ・ホール数は27ホールとする。
 - ・選手と補欠との交代は、開会式開始前のみ認める。
- (4) 試合球 パークゴルフ専用球とする。

◆ソフトボール男子競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム
- ・監督、コーチ、選手20名以内とする。ただし、監督、コーチが選手を兼ねる場合は選手18名以内とする。
 - ・競技成立人数（参加点の基準）は9名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、年齢区分は高校生以上とする。ただし、日本リーグに登録している選手は、出場できない。
- ・高校生2名の出場を認める。（登録は何名でも可）
 - ・30歳以上の選手が4名以上出場すること。
- (3) 試合方法
- ・2026年度日本ソフトボール協会オフィシャルルールに準ずる。
 - ・高校生を投手にすることはできない。
 - ・試合は7イニングとする。（ただし、60分を越えて次のイニングに入らない。）
 - ・3回15点差、4回10点差、5回以降7点差をもってコールドゲームとする。
 - ・全試合同点の場合は抽選とし、勝敗を決定する。
 - ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 - ・3位決定戦は実施しない。
- (4) 審 判
- ・1試合目の審判員として、2試合目の各チームより1名派遣する。
 - ・2試合目以降は審判員として、負けたチームより2名を次の試合に派遣する。
- (5) 試合球 協会検定3号ゴムボールを使用する。
- (6) その他
- ・高校生は「※」、30歳以上の選手は「○」をオーダー表に記入する。
 - ・参加者は背番号を付け、監督は30番、コーチは31番、キャプテンは10番とする。
 - ・金属スパイクの使用は禁止する。

◆ソフトテニス競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム8名以内
(1選手1試合に1回のみ出場・次の試合での交代は可)
男子ダブルス 1組
女子ダブルス 1組
ダブルス 1組 (性別不問)
・競技成立人数(参加点の基準)は4名以上とし、ダブルス2組以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、中学生～高校生を試合ごとに2名まで出場を認める。(登録は何名でも可)
- (3) 試合方法 ・2026年度日本ソフトテニス連盟の国際ルールに準ずる。
・全試合を7ゲームマッチとする。
・3ペア対戦のうち2ペア以上勝ったチームの勝利とする。
・A、B2ブロックに分け、リーグ戦方式とする。
・3位決定戦は実施しない。
- (4) 試合球 公認球とする。

◆相撲競技◆

- (1) 人 員 各地区1チーム(監督1名 選手5名 補欠1名)
競技成立人数(参加点の基準)は3名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、高校生は2名まで出場を認める。(登録は何名でも可)
- (3) 試合方法 日本相撲連盟競技会規定および審判規定に沿って行う。
【団体戦】
- ・まわしの下のアンダーパンツ着用は、可とする。
 - ・同点の場合、対戦結果で順位を決定する。ただし、対戦結果も同点となった場合、双方監督の話し合い又は、抽選等による方法にて順位を決定する。
 - ・A、B2ブロックに分け、リーグ戦方式とする。
- (4) 練習日程 【日 程】 毎週 月・金曜日
【会 場】 三島神社相撲場
【時 間】 午後8時より
- (5) そ の 他 選手選出に関しては、市相撲連盟の各地区世話役員に相談のこと。

※市民スポーツ大会終了後、個人戦を行う。

- ・参加希望者で行い、トーナメント戦方式とする。
- ・組み合わせ抽選は、大会当日行う。

◆バレーボール競技（男女）◆

- (1) 人 員 ・男女各地区1チーム 9人制（監督1名、選手12名）
 ・競技成立人数（参加点の基準）は9名以上の出場とする。
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、男女とも高校生は2名の出場を認める。（登録は何名でも可）
 ・男女とも35歳以上2名、30歳以上2名、30歳未満5名とし、補欠は3名までとし、各年代自由とする。
 ・選手交代は、年齢区分が上の年代の選手が下の年代での出場は可とするが、下の年代の選手が上の年代での出場は不可とする。
- (3) 試合方法 ・2026年度日本バレーボール協会9人制競技規則に準ずる。
 ・A、B2ブロックに分け、トーナメント方式とする。
 ・21点3セットとし、2セット先取とする。
 ・3位決定戦は実施しない。
- | 区 分 | ネットの高さ | コート |
|-----|--------|------------|
| 男 子 | 2.38m | 10.50m×21m |
| 女 子 | 2.15m | 9.00m×18m |
- (4) 試合球 検定球（5号）とする。
- (5) その他 ・高校生は「※」をオーダー表に記入する。
 ・出場選手は背番号をつけること。

◆水泳競技◆

- (1) 人 員 ・ 1種目1名とするが、自由形に限り選手2名まで出場できる。
 出場はリレー種目を除く種目については25m・50mを合わせて1人3種目までとし、リレー種目については1人2種目までとする。(年齢区分は統一すること)
 年齢区分 A:35歳未満、B:35歳以上、C:50歳以上、D:65歳以上
 ・競技成立人数(参加点の基準)は1名以上とし、2種目以上の出場とする。(リレーを除く)
- (2) 参加資格 大会要項のとおりとし、高校生の出場を認める。(登録は何名でも可)
- (3) 試合方法 最新の日本水泳連盟競泳競技規則に準ずる。

(4) 種 目 (単位：m)

区 分 \ 種 目		自由形	平泳ぎ	バタフライ	背泳ぎ	リレー	メドレー	混合リレー
男 子	35歳未満	25・50	25・50	25・50	25・50	100	100	100
	35歳以上	25・50	25・50	25・50	25・50			
	50歳以上	25・50	25・50	25・50	25・50			
	65歳以上	25・50	25・50	25・50	25・50			
女 子	35歳未満	25・50	25・50	25・50	25・50	100	100	
	35歳以上	25・50	25・50	25・50	25・50			
	50歳以上	25・50	25・50	25・50	25・50			
	65歳以上	25・50	25・50	25・50	25・50			

- (5) 練習日程 【日 程】 7月2日(木)～11日(土)
 ※スタート練習は不可とする。
 【会 場】 総合体育センター 温水プール
 【時 間】 温水プールの開館時間内
 【その他】 温水プール受付にて、所定の用紙に地区名・氏名を記入し入場(利用)する。
- (6) そ の 他 ・ 採点方法は、各種別タイムレースとし、参加点を1点、順位点として1位3点、2位2点、3位1点を与える。
 ・ 競技規則に基づく失格があっても、ゴールした場合は参加点のみを与える。ただし、重大な違反(途中棄権・他者の妨害等)が認められた場合は、参加点・順位点ともに与えない。
 ・ 各地区招集補助員1名を選出し、報告すること。

◆陸上競技（大運動会）◆

- (1) 競技内容 競技内容は後日決定とする。(8月決定予定)
抽選会は監督会議(9月上旬予定)開催時に行う。

(2) 開会、閉会式

【開会式】

- 1 入場行進
- 2 開会宣言
- 3 国旗掲揚
- 4 市旗掲揚
- 5 スポーツ協会旗掲揚
- 6 優勝旗、優勝杯返還
- 7 開会の挨拶
- 8 激励の辞
- 9 競技上の注意
- 10 選手代表宣誓
- 11 閉式通告

【閉会式】

- 1 開式通告
- 2 成績発表
 - ・陸上の部
 - ・総合の部
- 3 表彰
 - ・陸上の部
 - ・総合の部
- 4 閉会の挨拶
- 5 国旗、市旗、スポーツ協会旗降納
- 6 万歳三唱
- 7 閉式通告

- (3) 採点方法 各種目の下記得点を与える。

1位10点、2位7点、3位5点、4位4点、5位、6位3点

(4) 競技方法

- ・出場地区が6地区以下の場合は1回で実施する。
- ・出場資格に違反があった場合は失格とし、以下順位を繰り上げる。
- ・競技に違反があった場合は、違反があった競技終了直後、審判員による審議を行う。
- ・各競技の異議申し立ては監督のみが行えるものとし、次の競技が始まる前までとする。
- ・得点や順位 of 異議申し立ては、閉会式前の監督会議にて行う。監督会議にて、異議申し立てがなければ競技成立とする。

